



山 フ キ



山フキは、古くて新しい品目です。日本の伝統野菜として古来から親しまれていますが、最近特に健康野菜として、人気があります。

栽培は、中山間地域の傾斜畑に適している作物で日光が強く当たる場所は好みませんが、山間部で目立つようになってきた放棄地等でも十分栽培できます。一度植え付ければ、労力も多く必要とせず、出荷作業も比較的簡単です。ぜひ、集落・地域で集団で栽培してみてください。



経営資料

収 量 500 ~ 1000 kg / 10 a
 平均単価 400 ~ 500 円 / kg

	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7
露地 株養成 ふき(葉柄) ふきのとう 定植							収穫				

土地の選定：保水，排水ともに良好な半日陰地

種根準備：a 当たり約 1,300 本，7 ~ 10kg

定植：2 ~ 3 月または 8 ~ 10 月が適期。地下茎を約 10cm に切断，株間 20cm 4 条植え。

肥料：a 当たり基肥は各成分 1-1.5-0.8kg，追肥は発芽前と収穫後に 1.5-0-1.2kg を分施する。

管理： 植え付け直後，繁茂最盛期は灌水量を多くする。

新芽発生時に敷きわらをすると品質向上，雑草防止に効果がある。

植付後 4 ~ 5 年経過すると収量品質が低下するので改植するか帯状に間引く。

収穫：十分硬化したものを根元の紅色部分を付けて折り取り，出荷規格に従って選別，調整，結束する。ふきのとうの収穫は 12 月下旬からとなる。苞が開かないうちに収穫する。

問い合わせ先

徳島県立農林水産総合技術支援センター

農業研究所

中山間担当

TEL (0883) 72 - 0239

FAX (0883) 72 - 6868

<http://www.green.pref.tokushima.jp/nogyo>